

# (参考) 国家戦略特別区域の指定について (‘14.3.28 第4回国家戦略特区諮問会議)

## □国家戦略特別区域の概要 (案)

対象区域	政策テーマ
<b>I. 東京圏</b> 東京都・神奈川県 の全部又は一部、 千葉県成田市	国際ビジネス、イノベーションの 拠点
<b>II. 関西圏</b> 大阪府・兵庫県・京 都府の全部又は一部	医療等イノベーション拠点、 チャレンジ人材支援
<b>III. 新潟県新潟市</b>	大規模農業の改革拠点
<b>IV. 兵庫県養父市</b>	中山間地農業の改革拠点
<b>V. 福岡県福岡市</b>	創業のための雇用改革拠点
<b>VI. 沖縄県</b>	国際観光拠点

※東京圏及び関西圏の指定範囲については、全部又は一部のどちらとするかを含め、今後、関係地方公共団体の意見を聴いて、政令により定められる

## → □「関西圏」の対象区域及び区域方針 (案)

1. 対象区域  
 大阪府・兵庫県・京都府の全部又は一部  
 (注) 指定範囲については、全部又は一部のどちらとするかを含め、今後、関係地方公共団体の意見を聴いて、政令により定められる。
2. 目標  
 健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成を通じ、再生医療を始めとする  
 先端的な医薬品・医療機器等の研究開発・事業化を推進するとともに、  
 チャレンジングな人材の集まるビジネス環境を整えた国際都市を形成する。
3. 政策課題  
 (1) 高度医療の提供に資する医療機関、研究機関、メーカー等の集積及び連携強化  
 (2) 先端的な医薬品、医療機器等の研究開発に関する阻害要因の撤廃、  
 シーズの円滑な事業化・海外展開  
 (3) チャレンジングな人材の集まる都市環境、雇用環境等の整備
4. 事業に関する基本的事項 (実施が見込まれる特定事業等及び関連する規制改革事項)  
 <医療>  
 ・再生医療等高度な先端医療の提供【病床、外国医師、保険外併用】  
 ・革新的医薬品、医療機器等の開発【病床、外国医師、保険外併用、有期雇用】  
 <雇用>  
 ・ベンチャー企業やグローバル企業等に対する雇用条件の整備【雇用条件】  
 <都市再生・まちづくり>  
 ・国際ビジネス拠点の形成に資する建築物の整備【容積率】  
 ・まちなかの賑わいの創出【エリアマネジメント】  
 ・外国人の滞在に対応した宿泊施設の提供【旅館業法】  
 <教育>  
 ・国際ビジネスを支える人材の育成【公設民営学校】  
 <歴史的建築物の活用>  
 ・古民家等の活用による都市の魅力向上、観光振興【古民家等】

※「国家戦略特区における規制改革事項等の検討方針」(2013年10月18日日本経済再生本部決定)における規制改革事項のうち、農業に関するもの以外は、すべて盛り込まれている。

## □今後のスケジュール

- 区域の指定：広域の指定範囲において、関係地方公共団体との協議を経て、政令により決定 (4月下旬頃)。
- 区域方針の策定：目標並びにその達成のために取り組む政策課題、事業に関する基本的事項 (上右図) についての内閣総理大臣決定。
- 区域会議の設置、及び区域計画の策定：区域単位で区域会議が設置 (5月頃) され、「事業の内容及び実施主体」「事業ごとの規制の特例措置の内容」他について策定。(実際の事業区域も本区域計画に盛り込み、決定)

# 具体的な成長戦略②: インバウンド推進

○関経連では、関西広域観光の取り組みを強化するため、昨年11月に、官民による「広域観光研究会」を設置(座長:福島新関西国際空港会長)。2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年の関西ワールドマスターズゲームズを見据え、関西一体となって取り組むための関西広域観光戦略の策定を行うとともに、関西ブランドの振興やインバウンドへの対応向上のためのインフラ整備等について検討する。

## ■「広域観光研究会」

### 【体制】

座長: 福島伸一・新関西国際空港会長

メンバー: 関経連会員企業(旅行会社、航空会社、鉄道会社、広告代理店、百貨店、ホテルほか)、関西広域連合、関西地域振興財団

オブザーバー: 大商、京商、神商、歴史街道推進協議会、近畿地方整備局、近畿運輸局

### 【2014年度取組み事項】

#### ○関西広域観光戦略の策定

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズ開催を見据え、インバウンド需要獲得に向けて、関西広域連合、関西地域振興財団、経済界、関係機関等、関西一体となって取り組むための広域観光戦略の策定および推進体制の検討を行う。

#### ○「関西」のブランディング(2014年1月10日WG設置、リーダー:アートコーポレーション村田専務)

「はなやか関西」をコア・コンセプトとしたブランド展開を実施する。

#### ○外国人旅行者(インバウンド)への対応向上

- ・鉄道・バス等の外国人観光客向けパスの利便性向上
- ・無料Wi-Fi環境整備の検討

### 関西広域観光戦略の概要

#### ◆戦略に盛り込む項目(例)

- ①共有目標: 関係機関が共有すべき目標を設定する(2020年の訪問外国人数、宿泊者数等)
- ②関西ブランドPR展開: 関西の知名度や来訪意向度向上の為にツールの整備とPR展開
- ③観光環境整備: Wi-Fi、外国語表記、ポータルサイト、SNS、総合観光案内所、ハラル対応、通訳ガイド、空港と港のネットワーク強化、交通パス利便性向上
- ④ターゲット(国)別マーケティングに基づくターゲット誘客戦略:  
国別おもてなしマニュアル作成や、嗜好を考慮した府県域を超えた観光ルートの開発
- ⑤観光客を惹きつける魅力づくり戦略:  
歴史、文化、観光、食などの観光資源にスポーツ・健康を掛け合わせた新たなツーリズムの開発
- ⑥関西広域観光戦略を推進する持続可能な仕組みと体制づくり

# 具体的な成長戦略③: アジアの成長の取り込み

成長著しいアジア、特に相互に関心が高く、成長性・製造拠点適地として有望なベトナムとの交流を先駆的・重点的に推進

STEP1 交流の基盤づくり

(計画投資省との協力合意書締結)

STEP2 対話の場作り・トップ交流

(2007年～ 日越経済討論会開催)

STEP3 具体的な課題解決の支援

(2013年～)

## 関西ビジネスデスク(ハノイ)

関西企業からの  
ベトナム政府への問合せ・要望窓口

2013年11月1日(金)より業務開始

13社より17件の問合せ

(外資の投資規制状況、  
労働許可証の申請など)



## 関西ベトナムビジネス・ラウンドテーブル

関西企業が抱える課題について  
ベトナム政府機関と実務的に協議

第1回 2013年12月20日(金)

ヒアリングに基づき12の課題改善を要望  
(税制、中古機械の輸入規制など法制度の運用面)



# 具体的な成長戦略④：グローバル人材の活用

～「グローバル人材活用運営協議会」による産学官協働の留学生支援の取り組み～

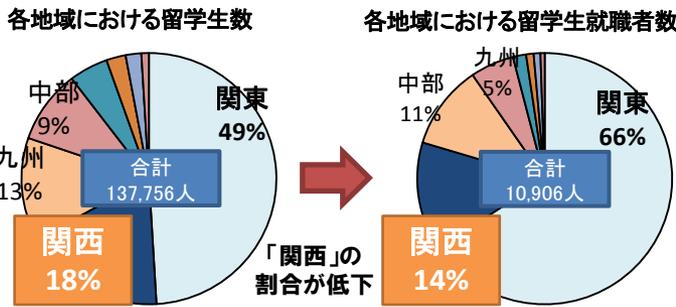
## 1. 留学生の現状と課題

### 1. キャリアステップが不明確

留学生の多くは、自分のキャリアについて関心が強い。  
さらに、母国と関係のある業務に就きたい、いつかは母国に帰りたいと強く考えており、将来は、母国の子会社に派遣する計画があることなど、明確なキャリア展望を示すことが必要である。

### 2. 中堅・中小企業との接点が不足

留学生の多くは、大企業のことしか知らず、活躍の機会がある中堅・中小企業のことを知らない。留学生と優良な中堅・中小企業をマッチングする就職支援策が必要である。



[出典：日本学生支援機構「平成24年度外国人留学生在籍状況調査結果」]  
[出典：法務省「平成24年留学生の日本企業等への就職状況について」]

関西で学んだ留学生が関西企業に就職していない  
⇒ 関西の中堅・中小企業における損失ではないか

### 3. 受入環境整備が不十分

生活習慣の違いなどから、住居の確保が難しい場合がある。留学生に対する理解を広め、提供される住居を増やす必要がある。

初めて留学生を採用する際に、理由書など法定されている書類以外に求められる情報が多く、申請手続きが不透明になっている。在留資格の変更手続きの明確化が必要である。

就労ビザが「技術」と「人文知識・国際業務」に分かれていることが、社内での配置転換の障害となっている。両者のビザの一本化が必要である。

学生と中堅・中小企業の出会いからマッチング、定着までを産学官協働で一貫して支援